

会 議 議 事 録

1 会議名	令和元年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和元年7月5日（金）午前11時00分から午後12時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 第二委員会室
4 出席者名	<p>（委員）中村委員長 山崎委員 草間委員 高橋委員 楨委員</p> <p>（説明のために出席した関係者）</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 和田学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 中村企画調査室長 公立大学法人長岡造形大学 白崎企画調査室係長 公立大学法人長岡造形大学 五十嵐企画調査室主任 公立大学法人長岡造形大学 野上財務課長 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課主任</p> <p>（事務局）長岡市政策企画課 大矢課長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 吉原主任</p>
5 欠席者名	なし
6 議事	平成30年度業務実績報告について

7 審議結果の概要	長岡造形大学と委員の間で質疑応答を行い、今後の評価書づくりに反映させていくこととなった。
8 審議の内容	
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。ただいまから、令和元年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。</p> <p>本日の評価委員会は、委員5名全員が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>なお、この度の評価委員会は、長岡造形大学の平成30年度業務実績報告に関する説明等のため、長岡造形大学から水流理事長、和田学長、河村副理事長、久島事務局長のほか5名の事務局職員の皆様から出席いただいております。</p> <p>水流理事長からひと言いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
長岡造形大学・ 水流理事長	(水流理事長あいさつ)
事務局・政策企画 課課長補佐	それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長よろしく願いいたします。
委員長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>まず最初に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めたいと思います。高橋委員と楨委員のお二人にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(高橋委員、楨委員了解)</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>今回の議事は1件です。平成30年度業務実績報告について、大学から自己評価の説明をしてもらいます。それについて各委員からご質問とご意見を伺います。財務状況については参考情報としてご説明いただけると伺っています。</p>

<p>長岡造形大学・ 久島事務局長</p>	<p>その後、大学関係者には退席していただき、委員の間で評価について審議を行いたいと思います。</p> <p>では、大学側から説明をお願いします。</p> <p>(資料1に基づいて説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>c評価となっている73番(73ページ)です。全く実績が無いということではないと思いますが、どの辺りが不足しているのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 久島事務局長</p>	<p>人事評価は、教員と事務職員とで2つの基準を設けています。</p> <p>教員は、授業、研究、大学運営、地域貢献、学生指導の5つに分けて業績を整理し、評価する制度としています。業績をポイント化して判断する昇任昇格の制度を現在実施しています。</p> <p>事務職員に関しては、平成30年度に業績評価と能力評価の2つを主とする人事評価制度を構築したところです。ただ、人事評価制度と連携した昇任昇格の制度の構築まで完成することができなかったので、このような評価にいたしました。</p>
<p>委員</p>	<p>市役所の場合どちらかというと年功序列です。例えば、それを打破しようとするときに、何も制度がないと、恣意的に行われたものと取られかねない。抜擢や飛び越しを可能にするような制度にするのか、あまりそういうことをしない、マイナス評価での制度を作るのか、目的によって制度の構築が大いに変わってくると思います。</p> <p>大学としてはもう30年近く実績があつて、これまでも人事は行われてきたと思いますが、何か問題があつて制度の構築を始められたのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 河村副理事長</p>	<p>今の時代ですから、人事評価制度はきちんとあります。計画の中に盛り込んだのは、職員の昇任昇格です。それぞれ基準があつたわけですが、この2つをどう連携させるのが課題でした。</p> <p>教員については工夫をしながら1つの形を作ったわけですが、職員</p>

<p>委員</p>	<p>については、平成30年度中には構築まで至りませんでした。</p> <p>「2021年度以降の入学向けの入試制度を作成し…」というところ（5ページ）です。何かを変える、ということなのでしょう。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>2021年度から制度が新しくなります。ひと言でいえば、多様な受験生を入れるようにするものだと判断しています。</p>
<p>長岡造形大学・ 河村副理事長</p>	<p>これまで学力試験を中心に判断していたものを、もっと多様な能力を、いろんな角度から測れる制度を導入するというのが2021年度の入試制度です。それに向けて今、各大学が方針を決めています。</p> <p>これまでもA0入試を中心に、多様な能力を見る試験を行っているので、それを基準にしながら、さらに強化していく方向です。その概要を受験生に周知することが決められていますので、周知を行いました。</p>
<p>委員</p>	<p>「授業評価アンケート結果検討会議を開催し、検証を行って改善に向けて検討した」（22番、15ページ）とありますが、アンケート結果の具体的な例としては、どのようなことがあるのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>教員や授業に対しての要望を記入できるようにしており、それに対する教員のコメントを公表しています。ただし、様々な要望に全て応えられるわけではないので、できない部分は丁寧に説明する必要があります。問題が多い部分は、対応するようにしています。</p> <p>例えば、大きな教室で教員の声が聞こえないなどの問題があれば、設備の改善をしていきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>授業評価アンケート結果検討会議はどのような構成でしょうか。公開はしているのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>学部長を中心に、学科長と指名する教員です。公開はしていません。</p>
<p>委員</p>	<p>志願倍率（19ページ）ですが、前年と比べて高くなっており、評価できます。</p> <p>内容については、最近は残念ながら市内の志願者、入学者が減っています。理由の一つは、大学のレベルが上がり、志願してもなかなか</p>

<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>入れないということかと思えます。</p> <p>大学のレベルが上がっていて、従来、造形大学に来ていたような市内の高校生が入りにくくなっているのも事実です。解決策として、高校に、AO 入試の活用や提出書類の要点を説明しています。また、専任の職員が高校を回り、大学の説明などを行っています。</p> <p>偏差値が高い高校の生徒の受験があまり多くありませんが、全国区では、レベルの高い高校の生徒も来ており、県内でもその傾向が出てきました。それを市内の高校の先生方が見ておられます。</p> <p>また、将来的に市内枠をどれだけ確保できるか検討を進めているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>造形大学が日本の中でも評価される大学になり、そこに長岡の子供がたくさん入る、というのが理想です。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>あとは、今まで目を向けてこなかった学生が興味を持つような、学部構成や、デザインの世界はこういうところで活躍できるのだという認識を、時代とともに変えていかなければなりません。そうすると、新しい層が市内の枠の中でも獲得できるのではないかと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>就職の関係ですと、OB がリクルートに行ったり、先輩と後輩の関係だとフランクに話ができたりします。大学入試の場合は、そうした卒業生と在校生のつながりはあるのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>以前は、美術クラブに所属していた生徒が夏休みなどに高校を訪ね、後輩に大学の様子を伝えたりしていました。</p> <p>現在は、市内には卒業生が1人美術講師をしています。</p>
<p>委員</p>	<p>入試の選考の中で、実技のウェイトは大きいのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>選択制で、実技で入ることもできますし、学科や論文で入ることもできます。他の美術大学と比べ、実技のウェイトは低いです。</p> <p>ただ、他大学も、実技のウェイトを下げつつあります。完成された人よりも、可能性のある人を採りたいということだと思います。スキルではなく感性、モチベーションを見る、というのが大学の方針です。</p>

委員	<p>芸術系の高校から来た生徒と一般の高校の生徒との差はありますか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>最初は歴然とした差があります。最終的には追いつきますが、最初の段階でモチベーションが下がり、退学してしまう例も見られますので、対策を考えなければなりません。</p>
委員	<p>29番（17ページ）カウンセリングの予約状況を教えてください。また、相談内容はどのようなものがあるのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 久島事務局長	<p>カウンセラー2名で週3日面談を行っていましたが、予約は毎回、いっぱいに近い状況でした。内容は、学内での友人や先生との関係、一人暮らしをする上での生活の問題などが多いです。</p> <p>大学にはカウンセラーほか、看護師資格を持つ職員が2名おります。特に健康に関することは、カウンセリングの前に看護師が話を聞いています。</p> <p>修学支援が必要な学生は年々増加しているのが実態です。</p>
委員	<p>数は少ないかもしれませんが、問題を抱える子供は増えています。</p> <p>また、女子学生が多いため、女性特有の問題が生じることが多くあると思います。大学の授業とは別の話になるとは思いますが、そういった部分へのアプローチをしていただけると良いと思います。</p>
長岡造形大学・ 久島事務局長	<p>学生のSOSを事前に察知して対応できる体制づくりをしていきたいと思っています。800人近い女子学生がおりますので、大学としても、今後も引き続き対応していきたいと考えています。</p> <p>報告書にはありませんが、不定期で、看護師と学生が昼食を一緒にとりながら話をするといったことも行っています。</p>
委員	<p>49番（24ページ）ですが、「特別研究費の申請条件として外部競争的研究資金への応募を必須とした」というのはどのようなものでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>1人あたり年間50万円の研究費を渡していますが、それで賄えないもの、あるいは大学として取り組むべきものに対しては別枠で特別研究費として予算を持っています。特別研究費を分配を決定するにあ</p>

<p>委員長</p>	<p>たり、研究の質やモチベーションを上げるため、外部研究費への申請を必須としました。</p> <p>大学院は定員を充足しており、良いと思います。その中で、「留学生2人を含む」とありますが、大学としてはどのように評価しますか。</p>
<p>長岡造形大学・ 水流理事長</p>	<p>今は中国からの留学生が多いです。留学生の受け入れにおいても、多様性や高いレベルを目指したいため、アジア圏だけではなく、欧米からも受け入れたいと考えています。その際は、交流協定締結校からの受け入れになるかと思います。</p> <p>語学力の問題もあります。学生の側もですが、受け入れる大学側も力をつける努力は必要かと思います。</p> <p>大学院へは、他大学からの入学、それから社会人の入学も、デザインというのは魅力的な分野だと思いますから、増やしていきたいと考えています。現在は15名の定員ですが、将来的にはさらに増やしていきたいという思いもあります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次に財務状況について大学から説明をお願いします。</p>
<p>長岡造形大学・ 久島事務局長</p>	<p>(資料に基づいて説明)</p>
<p>委員</p>	<p>承継資金の一番最初の金額を教えてください。</p>
<p>長岡造形大学・ 河村副理事長</p>	<p>公立大学法人化の時点では56億円です。</p>
<p>委員</p>	<p>純資産の合計56億6千2百万円ですが、昨年度の金額はいくらでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 野上財務課長</p>	<p>昨年度純資産合計は57億6千3百万円です。</p>
<p>長岡造形大学・ 水流理事長</p>	<p>計画修繕を進めておりまして、空調設備、防水関連などで入れ替え作業が必要な時期であるため、計上額が多くなっています。</p>

委員長	<p>それでは、ほかに質問がなければ、今ほどの議論をもとに評価の審議を行いたいと考えておりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>それではここで造形大学の皆様には退席していただき、委員の間で審議を行いたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>(大学関係者退席)</p>
委員長	<p>それでは、委員の皆さんの中で意見交換を行いたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>c評価も一つありました。</p>
委員	<p>人事評価と昇任昇格制度をリンクさせるというのは難しいところですね。</p>
委員	<p>どこを目指すか、だと思います。そうでないといつまでもc、d評価になってしまいます。</p>
委員長	<p>いずれにしても、現在の中期目標が終わるまでには完成させるというのが大学の姿勢であると思います。</p>
委員	<p>各項目の評価と、全体評価にずれがあるようにも思います。昨年まで成績が良いと、なかなか評価を落とせないというのは理解しますが、やはり合致するようにしていただかないと、評価委員としてはおかしいと言わざるを得ないと思います。</p> <p>個別の評価は抑制的でbが多いのに、全体評価がAで良いのか、またはそのA評価をどのように説明するかが難しいところです。</p>
委員	<p>女子学生が多いということで、女性特有の問題が出てくるにも関わらず、男性では話しづらいというのが現実だと思います。そうすると、審議会のような場で発言ができる女性の方が必要だと思います。</p>
委員	<p>大学内部の人材で、全ての問題に対応できるわけではないと思います。そうした時には外部の力を活用して対応していくのも方法だと思います。</p>

委員長	<p>技大でも、女性が少ないにも関わらずそうした問題はありました。 正式な委員だったのかは明確ではありませんが、会議の場にカウンセラーが出席していました。</p>
委員	<p>正式なメンバーでなくても会議の場に来ていただくとか、議論する場があると違ってきます。計画の中に盛り込んでいただいても良いかと思います。</p>
委員長	<p>それでは、皆様よろしいでしょうか。 事務局では、今の議論をもとにして評価書案の作成を進めてください。進行をお返しします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>中村委員長はじめ、委員の皆様、ありがとうございました。 次第の3、その他としまして、次回の評価委員会について、事務局からご連絡いたします。</p>
事務局・政策企画課課長	<p>(次回会議日程、中期目標の進捗状況について説明)</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>それでは、以上を持ちまして「令和元年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。 ありがとうございました。</p>
<p>上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">委 員</p> <p style="text-align: center;">委 員</p>	
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料1 平成30年度業務実績報告書 	